

「びわ湖源流の郷たかしま戦略計画」の策定

びわ湖源流の郷たかしま戦略策定事業 720万円

県下最大の琵琶湖の面積を持ち、里山、里住から里湖へとつながる「びわ湖源流の郷」を貴重な資源として活かし、水源地域に根ざした地域産業を活性化させていきます。

環境を良くすることが地域産業を発展させ、地域産業が活性化することによって環境も良くなっていくような環境保全と地域産業の好循環に向けて戦略を策定します。



主な事業をご紹介します

活力ある地域産業の創生

いきいきコミュニティの創生

みんなで創るまちづくり事業 1億3,515万円

それぞれの区・自治会独自の課題解決や取り組みに柔軟に対応しその活動が活性化するように「みんなで創るまちづくり交付金」を創設します。高齢化率が高いなどの地域格差を是正しながら総合的に支援する制度です。

市民協働提案事業 1,000万円

地域の課題やニーズを解決に導き、よりよいサービスを提供できるように、市民の皆さんが持つ事業のノウハウと、行政の持つ信頼感や財源などを効果的に組み合わせる協働事業提案制度を実施します。

例えば、健康づくりに関して、保健師などの専門的な知識を持つ行政と



スポーツインストラクター等が所属されている団体が協力し、ウォーキング講座やイベント等を開催し、市民の皆さんの健康増進を図ります。

地域特産品振興事業

1,891万円

なたね、雑穀、キャベツ、赤カブ、まくわなど指定特産物に補助を行います。

また「びわ湖源流の郷たかしま」の農産物を安心・安全な特産品として認証する制度をはじめます。認証品を広くPRすることにより、高島産農産ブランドを確立し、生産拡大や販売促進等の取り組みを進めます。



高島地域材流通促進事業

1,353万円



市内産木材の需要拡大を図るため、生産者から施工者をつなぐ流通システムをつくることにも、地域材活用の普及・啓発活動を行います。

企業活動支援事業

6,070万円

「設備投資奨励金」「雇用増進奨励金」「労働環境改善助成金」を、2年間延長します。

市内企業の新規設備投資や市内従業員の増員、労働環境の整備を支援することで、地域産業の振興と地元雇用の促進を図ります。

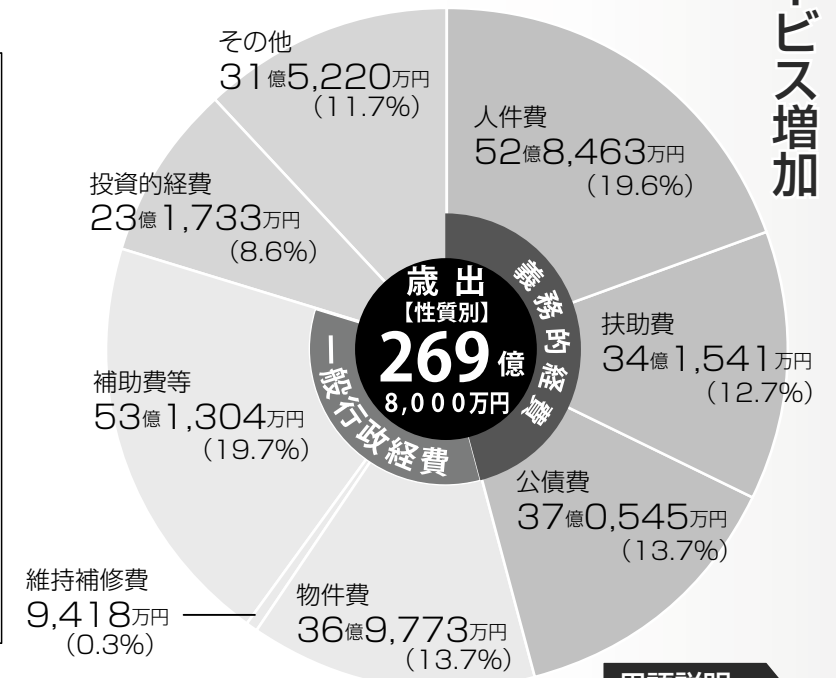
一般会計 歳出

子ども手当など福祉サービス増加 病院建設が本格化

歳出は、性質別にみると、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が前年度より1億3,008万円、1.1%の増額となっています。これは、人件費、公債費が減少しているものの、子ども手当の支給や障害者福祉サービス給付費の増加などにより扶助費が増加しているためです。

一般行政経費は、物件費削減で、8,250万円を減額できたものの高島総合病院の建設事業に伴う病院事業会計への負担金の大幅な増加により19億4,469万円、27.2%の増となっています。

投資的経費は、平成22年度中に国の経済対策事業を活用し、学校施設の耐震化など懸案事項を前倒しして実施したことから、当初予算では前年度と比較して5億1,623万円、18.2%の減となっています。



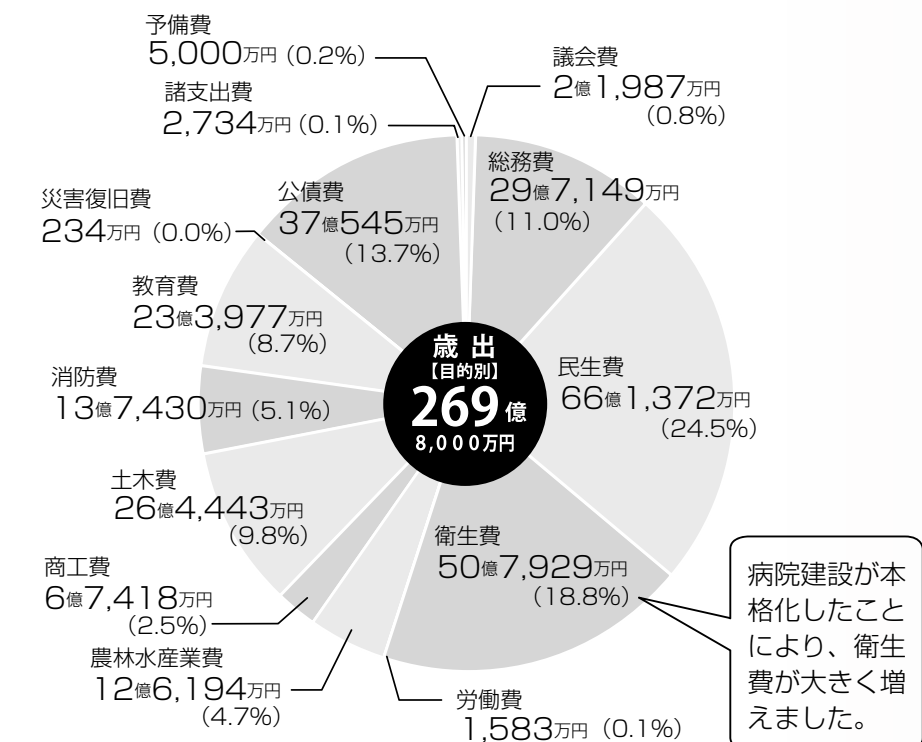
グラフを見るポイント!

人件費、扶助費、公債費は、義務的経費といい、その支出が法律などで義務づけられていて、自由に減らすことができません。

義務的経費の比率によって、財政の自由度が左右されます。

高島市の場合、義務的経費の割合が約半分となっています。

目的別の内訳



病院建設が本格化したことにより、衛生費が大きく増えました。

用語説明

- 人件費 職員など人に関する経費
- 扶助費 医療や福祉に関する経費
- 公債費 借入金の返済に関する経費
- 物件費 光熱水費や消耗品に関する経費
- 維持補修費 道路、公共施設などの管理に関する経費
- 補助費等 団体への補助金に関する経費
- 投資的経費 施設や道路の整備に関する経費
- その他の経費 繰出金や貸付金など